

2019 年度千代田学

大妻女子大学比較文化学部 千代田区小学生・親子バード ウォッチング活動報告

目次

はじめに

千代田学への応募と採用

予備調査：すずめの観察

バードウォッチング実施へ

実施日と参加申し込み総数

観察できた野鳥の種類

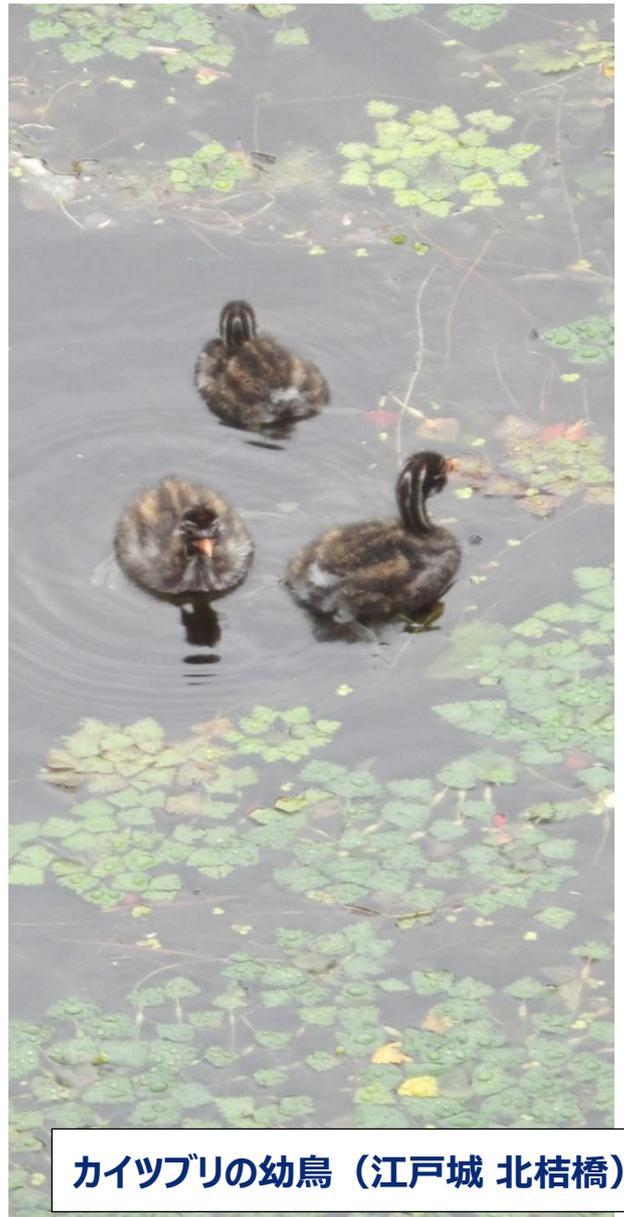
活動実績報告

参加者の声

参加学生の声

協力団体の紹介

プロジェクトメンバー



カイツブリの幼鳥（江戸城 北桔橋）

千代田学・千代田区バードサンクチュアリ化

プロジェクトーエナガの遊ぶ千代田区へー

作成者: 高田 馨里

2019 年度 千代田区バードサンクチュアリ化プロジェクト

活動報告（千代田学）

はじめに



（ヤマガラ・高田馨里撮影）

2017 年度、大妻女子大学比較文化学部は多摩市から千代田区に移転してきました。多摩地区の豊かな自然の中、キャンパスにはたくさんの野鳥が遊びに来ていました。移転によって野鳥を見ることもなくなるのだろうか…と思っていたところ、千代田キャンパス付近で偶然、ヤマガラという野鳥を見つけました！それがこのプロジェクトのはじまりでした。

次の興味は、エナガが生息しているのかどうかでした。エナガは、日本で 2 番目に小さな野鳥で群れを作って移動します。仕事の合間を縫って、靖国神社や北の丸公園を回ると、シジュウカラやメジロと一緒に群れを作って元気に飛び回るエナガを発見しました！



・千代田学への応募へ

千代田学は、千代田区と千代田区内の大学の先生・学生による調査研究です。このプロジェクトでは、千代田区の環境と生物多様性を調べると同時に、千代田区の小学生とご家族を対象にバードウォッチング講座を行い、子どもたちが自然と生物多様性を理解できることを目標としました。

おなかを見せているエナガ（以下、記名がない写真は高田が撮影）

千代田学の採択

・採用された後に、千代田区で「理科実験教室」を実施してきた大妻女子大学家政学部児童学科の石井雅幸先生から、区内小学校の小学生を対象にした行事についてアドバイスを受けました。また千代田区教育委員会と区内学校長の先生や各小学校の担任の先生に参加者募集の協力いただきました。衷心、感謝いたします。

・専門家の協力……野鳥観察のために専門家に来ていただこうと計画し、NPO 法人バードリサーチの神山和夫さんに問い合わせたところ、NPO 法人東京生物多様性センターの渡辺仁先生を紹介していただき、このプロジェクトの講師と野鳥調査への協力をお願いすることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

・予備調査：すずめの観察（2019年5月に実施）

バードリサーチの調査によれば、日本の家屋住宅の変化によってすずめの営巣が難しくなっており、「1990年ごろから2008年ごろのあいだに、国内のスズメの個体数は少なくとも半減したと推定されている」（三上2009a, 三上・森本2011）。

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/birdresearch/9/0/9_A13/_pdf より引用)

👉千代田区で、すずめたちは人造物を工夫して活用しながら繁殖しています。

👉くちばしの根元が黄色いのが幼鳥



・バードウォッチング実施へ



・第一回（2019年6月30日）大妻女子大学千代田キャンパスに集合し、双眼鏡の使い方を学び、しっかりと野鳥が観察できるよう練習をしました。

・実施日

2019年 6月30日

2019年 7月 7日（雨天中止）

2019年12月 8日

2019年12月22日

2020年 1月 5日

2020年 1月26日

・参加申し込み総数 145名



麴町小学校・番町小学校・九段小学校・千代田小学校・和泉小学校・御茶ノ水小学校
富士見小学校・昌平小学校より小学生とご家族のご参加、ありがとうございました。

・観察できた野鳥の種類…調査した場所（千鳥ヶ淵緑道・北の丸公園）

2019年6月30日（応募者多数のため午前・午後の部を開催しました）

No	和名	AM	PM
1	ハシビロガモ		✓
2	カイツブリ	✓	✓
3	カワラバト	✓	✓
4	ヒメアマツバメ	✓	✓
5	カワウ	✓	
6	アオサギ	✓	
7	ダイサギ	✓	
8	オオタカ		✓
9	コゲラ		✓
10	ハシブトガラス	✓	✓
11	ツバメ	✓	✓
12	ヤマガラ	✓	✓
13	シジュウカラ	✓	✓
14	エナガ	✓	✓
15	ヒヨドリ	✓	✓
16	メジロ	✓	✓
17	ムクドリ	✓	
18	カワラヒワ	✓	✓
19	スズメ	✓	✓
小計		16	15
合計種数		19	



夏にやってくるつばめ
千代田区にも営巣があります



ダイサギ 特徴は足が黄色い
ところです。美しい姿でした

参加者の声…「親子バードウォッチングありがとうございました。個人的にはヒメアマツバメは初めて見た鳥だったので、それが最大の収穫でした。娘はスズメを熱心に観察しているようでした」（九段小・ご家族）。

☞さらに観察会を工夫するためのアイデアなど、非常にためになるご意見をありがとうございました。

・「野鳥が戻ってきた千代田区、環境が良くなってきたのか、温暖化の影響もあるのか、色々と調べてみたくなりました。子供もとても喜んでおり、昨日の参加が叶わなかった6年生の娘とも、今度の休日に一緒にバードウォッチングに行く約束をしました」（参加ご家族より）

2019年11月から12月（冬鳥の飛来によって観察可能な種類が増えました）

11月29日（下見）	12月8日（9時～）	12月22日（9時～）
1.オカヨシガモ	1.オカヨシガモ	1.オカヨシガモ
2.ヨシガモ	2.ヨシガモ	2.ヨシガモ
3.ヒドリガモ	3.ヒドリガモ	3.ヒドリガモ
4.カルガモ	4.カルガモ	4.マガモ
5.コガモ	5.コガモ	5.カルガモ
6.ホシハジロ	6.ホシハジロ	6.ハシビロガモ
7.キンクロハジロ	7.キンクロハジロ	7.ホシハジロ
8.カイツブリ	8.カイツブリ	8.キンクロハジロ
9.カワラバト	9.カワラバト（ドバト）	9.カイツブリ
10.オオバン	10.キジバト	10.カワラバト（ドバト）
11.ユリカモメ	11.カワウ	11.キジバト
12.カワウ	12.アオサギ	12.カワウ
13.アオサギ	13.コサギ	13.アオサギ
14.オオタカ	14.オオバン	14.オオバン
15.カワセミ	15.ユリカモメ	15.ユリカモメ
16.コゲラ	16.カワセミ（参加者確認）	16.コゲラ
17.ハシブトガラス	17.コゲラ（声のみ）	17.ハシブトガラス
18.ヤマガラ	18.ハシブトガラス	18.ヤマガラ
19.シジュウカラ	19.シジュウカラ	19.シジュウカラ
20.ヒヨドリ	20.ヒヨドリ	20.ヒヨドリ
21.ウグイス	21.ウグイス（声のみ）	21.ウグイス（声のみ）
22.エナガ	22.エナガ	22.エナガ
23.メジロ	23.メジロ	23.メジロ
24.シロハラ	24.シロハラ（声のみ）	24.ムクドリ
25.ツグミ	25.ツグミ（声のみ）	25.シロハラ
26.スズメ	26.スズメ	26.ツグミ
27.キセキレイ	27.キセキレイ	27.スズメ
28.ハクセキレイ	28.ハクセキレイ	28.キセキレイ
29.カワラヒワ	29.カワラヒワ（声のみ）	29.ハクセキレイ
	30.アオジ（声のみ）	30.シメ

（野鳥種類確認リストはすべて NPO 法人東京生物多様性センター代表渡辺先生による）

2020年1月期（1月26日は天候により午後1時から実施しました）。

1月5日(9時～)	1月26日(13時～)
1.オカヨシガモ	1.カイツブリ
2.ヒドリガモ	2.カワウ
3.カルガモ	3.マガモ
4.ハシビロガモ	4.カルガモ
5.コガモ	5.ヒドリガモ
6.ホシハジロ	6.ハシビロガモ
7.キンクロハジロ	7.ホシハジロ
8.カイツブリ	8.キンクロハジロ
9.カワラバト（ドバト）	9.オオタカ
10.キジバト	10.オオバン
11.カワウ	11.キジバト
12.アオサギ	12.カワセミ
13.オオバン	13.コゲラ
14.オオタカ	14.キセキレイ
15.ノスリ	15.ハクセキレイ
16.カワセミ	16.ヒヨドリ
17.コゲラ	17.シロハラ
18.ハシブトガラス	18.ツグミ
19.ヤマガラ	19.エナガ
20.シジュウカラ	20.ヤマガラ
21.ヒヨドリ	21.シジュウカラ
22.ウグイス（声のみ）	22.メジロ
23.エナガ	23.アオジ
24.メジロ	24.シメ
25.シロハラ	25.スズメ
26.ツグミ	26.ハシブトガラス
27.スズメ	
28.キセキレイ	
29.ハクセキレイ	
30.カワラヒワ（声のみ）	



ヒドリガモ、オオバン、オカヨシガモ



カワウ 真っ黒ですがエメラルドの目です



双眼鏡と望遠鏡で観察しました

活動実績報告

- ・春季に一回（午前・午後実施）を行いました。梅雨の時期でしたので、1日中止になってしまったのは残念でした。6月30日の会では大型のサギ類、カワウを観察することができました。北の丸公園池でのカワウの潜水に歓声があがりました。
- ・冬季に四回の観察会を行いました。冬になると、水鳥など越冬してくる野鳥が飛来し、一気に多くの種類を観察することができました。
- ・また、上空を飛行する猛禽類も数種（オオタカ、ノスリ）も観察できました。
- ・参加学生は、野鳥の写真リストをもって、参加者のみなさんに確認してもらうよう心掛けました。説明と写真リストでさらに特徴が理解できたのではないのでしょうか。
- ・12月と1月の会では、NPO 法人東京生物多様性センターより双眼鏡をレンタルしていただき、すべての参加者が双眼鏡をもって観察できる体制にしました。
- ・望遠鏡も2台体制で周りました。かなり大きくはつきりと特徴がつかめたと思います。



撮影 谷口実優

- 千鳥ヶ淵緑道・北の丸公園と決めて定点観測的にバードウォッチングを開催したことによって、留鳥（1年を通じて生息している野鳥）を観察できました。

留鳥種類🐦：カイツブリ・カワラバト・カワウ・アオサギ・ダイサギ・オオタカ・コゲラ・ハシブトガラス・ヤマガラ・シジュウカラ・エナガ・ヒヨドリ・メジロ・ムクドリ・カワラヒワ・スズメ・ハクセキレイ・キセキレイ・ウグイス・カワセミ・ユリカモメ
 （この頁と次の頁：北の丸周辺で渡辺先生の撮影による写真）



エナガ



カワセミ



コゲラ



シジュウカラ



メジロ



ヒヨドリ



スズメ



ハクセキレイ



キセキレイ



ハシブトガラス



コサギ



ユリカモメ

・冬鳥の飛来によって皇居周辺の北の丸公園・周辺の水辺はにぎやかになりました。

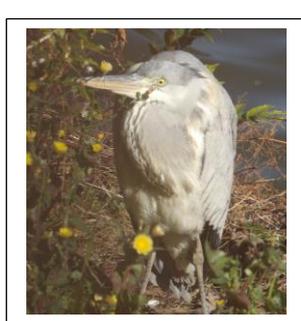


上からヨシガモ、ヒドリガモ、ツグミ

上からコガモ、ハシビロガモ、シロハラ

上からオカヨシガモ、シメ、アカハラ

・図鑑に載っていない鳥たち？ 野鳥は、幼鳥と成鳥で羽の色が違場合があります。



ハクセキレイ幼鳥

ハクセキレイ成鳥

アオサギ幼鳥

アオサギ成鳥

・皇居周辺でたくさんの幼鳥が観察できました。幼鳥は、千代田区でかなりの種類の野鳥が繁殖していることを示しています。皇居周辺をはじめ、千代田区の緑地や水辺はすでにバードサンクチュアリとして機能しています。千代田区の自然環境と生物多様性を守るために、千代田区に暮らす子どもたち・ご家族や千代田区で学ぶ学生たち・働く人たちの理解が重要です。（幼鳥・成鳥 4 枚は高田撮影）

参加者の声

「息子が図鑑や動物が好きなので当初気軽な気持ちでお申込みをさせていただいたのですが、とてもためになって非常に楽しく、本当に参加してよかったなあと感じております。近所にあんなに沢山の種類の鳥たちがいるとは夢にも思わず、見える世界がまったく変わってしまいました。帰ってから鳥図鑑を引っ張り出してきて、「ハクセキレイだ！」「マガモ、可愛かったね」とわいわい話していました。4歳の弟も見たい見たいと騒いでおり、是非双眼鏡を購入して家族みんなでまた皇居に行ってみようと思います。また季節が変われば違う鳥たちも見られるのでしょうか。楽しみです。本当にありがとうございました！！」（昌平小学校・ご家族）

先日はありがとうございました。親子で楽しませていただき、大変感謝致しておりました。

以下、感想です。宜しく願います。

「鳥のふんがたくさん落ちていた所は、鳥がいっぱいいると知った。バードウォッチングのやり方のむずかしさがわかった」（九段小学校・3年生）

「写真を持参して鳥の種類や特徴を説明して下さったおかげで、散策しながらも沢山の数の野鳥を詳しく観察することができました。双眼鏡の正しい使い方も教えていただいたので、これからは家族でバードウォッチングを楽しもうと思います。（九段小学校・ご家族）

「私も息子も初めてのバードウォッチングでした。都会の真ん中の千代田区に素晴らしい自然があり、沢山の野鳥を観察出来て凄く驚きました。私は小さいころから千代田区に居ますが、今回こちらの活動に参加させていただくまで全く知りませんでした。沢山の種類の野鳥がいること、自然豊かな場所があること、素晴らしい千代田区の魅力に気づかせてくれました。息子も今まで何も気に留めていなかった鳥の魅力に魅せられていました。説明頂きながら観察する事で凄く知識を得られたと思います。とても興味をもっているため今後も続けていけたらと思っています。公園に行く際は観察も続けていきたいです。素晴らしい機会を与えていただきありがとうございました。また機会があったら参加したいです」（昌平小学校・ご家族）

「僕は、バードウォッチングに行くとトビやコゲラを見れたのが楽しかったです。カメラでコゲラが飛ぶ瞬間がとれました。それから田舎で鳥を呼ぶためにエサ台を作りました。写真をまた見てください。先生ありがとうございました。また春もやってください」（富士見小学校・4年生）

「私は、カラスがノスリをモビングするところを始めて見たことが一番印象に残っています。これは先生達と一緒にリアルタイムの説明を受けながらバードウォッチングができたからこそ得ることができた経験です。同じ散策コースにもかかわらず、毎回季節の移ろいを感じ、鳥の種類にも違いがあり、平均30種もの鳥達を身近に見て知ることができました。

本当に素晴らしい観察に参加させていただきました。ありがとうございました」（富士見小学校・ご家族）

「先日はお世話になりましてありがとうございました。親子共々たくさんのお話を教えていただき大変楽しい時間でした。千代田区でもたくさんの野鳥を見られることに驚きました。ノスリとカラスの追いかけっこを教えていただき、これからも皇居の周りでは空を見上げながら歩きたいと思います。機会があればぜひまた親子揃って参加させていただきたいと思っています」（麹町小学校・ご家族）

「今回、前回と参加させていただきありがとうございました。貴重な時間を過ごすことができました。野鳥を知ることで、近所の自然を感じることができ、先生方と周ったことで図鑑でしか見たことがなかった野鳥も見られて楽しかったです。今では普段の生活でも、スマホで野鳥の動画を撮ったりと、楽しみが増えました。次回も機会があったら参加したいです」（麹町小学校・ご家族）

参加学生の声

「二回にわたり千代田学に参加させてもらいましたが、皇居周辺を散策しながら多くの種類の野鳥を観察することができました。そして、都内でこんなにも沢山の野鳥がいるのだということに驚きました。これまで野鳥について詳しくありませんでしたが、双眼鏡から見える鳥たちは可愛らしくまた鳴き声が聞こえると、どこにいるのだろうと探すのも楽しかったです。今回の千代田学参加を通じて生態系について学ぶことができたの同時に、地域の方との交流ができ非常にいい経験となりました」（比較文化学部 3 年生 本田日和）

「今回の千代田学を通して、千代田区で見ることのできる鳥類の多さと自然の豊かさを直接感じることができました。東京では自然が豊かだと言う印象が非常に少ないですが、自然や動物に興味を持つ小学生や大人の方々が多くいると言うことを知り環境保全などの重要性も知ることができ、とても良い経験になりました」

（比較文化学部 3 年生 山田里沙）

「普段何気なく歩いているところにもさまざまな種類の鳥が生息しており、ビルの多い千代田区でも生物の多様性を感じることができました。参加して下さった地域の子供達からも「あの鳥なんだろう」や「こっちにもいるよ」と声をかけられ、楽しんでる様子を見ることができてよかったです。会話しながら歩くことで子供たちの小さな発見にも触れ合うこともでき、とても貴重な体験でした」（比較文化学部 3 年生 宮本彩加）

「千代田学に参加して、大学周辺にこんなにも多くの鳥類が生息していることに驚きました。回数を追うごとに、鳥の名前が自身で判断できるようになり、バードウォッチングの楽しさがわかるようになりました。また、生物多様性センターの渡辺先生の解説もあり今まで知らなかった生態や特徴も今回初めて学ぶことができました。バードウォッチングを通して、多種多様な鳥類を観察することのできる東京が新たに発見できたとともに自然の豊かさに触れることができ、とても貴重な体験となりました」（比較文化学部 3 年生 熱田三奈）

「山梨から千代田区の大学に進学したにあたって都会というイメージとあり方から地元よりも数多くの様々な鳥がいるとは思わなかったです。でも実際に見つけに行くとたくさんの種類と数の鳥を目の当たりにできました。このアルバイトは小学生を対象に行われたことでしたが、大学生のわたし自身も千代田区の鳥における生態系について学ぶことができたので、他にはない経験でした。私の地元で行ったら千代田区とはまた違った鳥がいるのではと興味を持つこともできました」(比較文化学部 3年生 程原光蘭)

「千代田学を通して普段何気なく歩いていた大学周辺にも沢山の自然や鳥がいたことに気がつくことができました。また、大学に通っていながらも中々皇居の近くを散策することはなかったので、普段のビルに囲まれた街と少し離れただけで違った景色が見えてとても新鮮でした。子どもたちのどんなことに対しても疑問を持つ好奇心や、その答えを自分の中で見つけようとする探究心は今の自分に必要な部分だったので、バードウォッチングをしていく中で、自然だけではなく子どもたちからも学ぶことが沢山ありとても良い経験をする事ができました」

(比較文化学部 3年生 名川果歩)

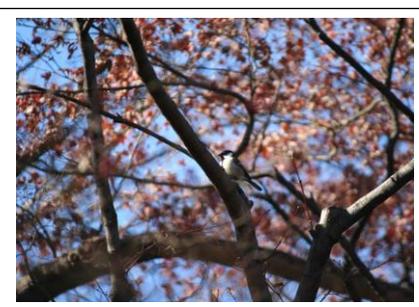
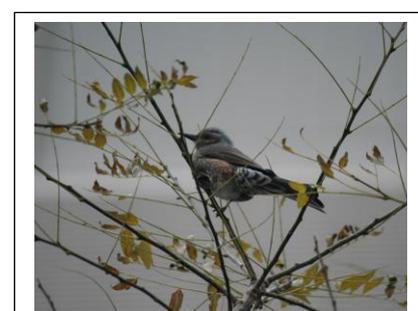
「生憎の天気で心配でしたが、普段鳥について種類も分からない私自身にとって、様々な種類の鳥を見ることができ、少しずつ違う特徴や鳴き声など、鳥について驚くことばかりでした。それに加えて参加者の中に、小学生でカメラを持参し「鳥が大好きで楽しみにしてきた！」と言ってきていた小学生もいて、楽しみにして来てくれていた小学生と一緒に観察することができ、私自身も元気を貰えました」(比較文化学部 3年生 櫻井美咲)

「今回、バードウォッチングを未知のまま初めて参加させていただきました。子供につられて興味を持ち観察をしていると、これほどの種類の鳥が身近にいることに改めて驚きました。くちばしの色が少し違うだけで性別が判断できることなど普段考えないことを学ぶことができて興味深かったです。バードウォッチングをすることで、四季や命の素晴らしさを感じることができました」(比較文化学部 3年生 佐藤亜美)

(撮影 谷口実優)



参加した山崎慶一郎君撮影の野鳥写真集



上段 エナガ ハクセキレイ コゲラ 二段 ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ 三段 スズメ シジュウカラ メジロ 下段 キセキレイ

渡辺仁先生が代表を務める「特定非営利活動法人 東京生物多様性センター」の紹介

-東京に生きものにぎわいを楽しめる社会をつくる-

東京の生物多様性をめぐる現状は厳しい状況があります。例えば、都市・住宅開発、林業の衰退、水田の減少、外来種の侵入、絶滅危惧種の増加など、枚挙にいとまがありません。それにも関わらず、保全の取組は十分とは言えず、都民の関心も決して高いとは言えません。

一方で、大気汚染や水質汚濁は高度経済成長時代と比較すれば、かなり改善され、アユ等の清流の魚類が復活したり、都心にきれいな水を指標する鳥のカワセミや樹林性のエナガなどの鳥類が戻ってきたり、オオタカなどの猛禽類が復活したりと、良いニュースもあります。

当センターは生物多様性の保全を進めるとともに、生きものにぎわいの面白さを伝えていきます。

生きものを知る

生物多様性に関する情報収集・解析

活動例)

- 資料や調査結果をもとに東京の生物多様性データベースを構築します
- 東京の生物多様性に関する機関誌を発行します
- 都市の指標生物であるツバメの調査を継続的に実施します
- 在来及び雑種タンポポの分布状況の調査を実施します
- ホタルやカエル類の分布状況の調査を実施します
- 都市公園、里山や河川の生態系調査を実施します



生きものを守る

生物多様性の保全・再生策の立案
及び実施

活動例)

- 送粉者であるミツバチを保全することで、地域の生態系の健全性を守ります
- ツバメの集団ねぐらとなるなど、様々な生物の重要なハビタットであるヨシ原の保全を行います
- 小さな自然再生事業を実施していきます

人と生きものをつなぐ

生物多様性に関する普及啓発・政策提
言

活動例)

- 生物多様性セミナーを定期的に関催します
- 自治体の生物多様性地域戦略の策定や運用に協力します
- 一般や学生を対象に体験プログラムを提供します
- ウェブサイトや SNS を通じて、生きもの情報を積極的に発信します
- テレビ局などの番組制作に協力します

人と人をつなぐ・支える

生物多様性に関する市民団体・関連団
体の支援

活動例)

- 生物多様性に関わる市民団体への情報共有、資機材やプログラムの提供などによりサポートするとともに、協働していきます
- 市民団体や NPO との連携だけでなく、行政、企業、大学などとも連携することにより、効果的な生物多様性の保全を進めます

東京と世界をつなぐ

生物多様性に関する国際連携・国際
協力

活動例)

- 国際的なイベントに参加し、世界と一体となった生物多様性保全を進めます
- 国際的な生物多様性に関する活動や情報交換の都市間連携を目指します

e-mail info@tokyobio.jp

特定非営利活動法人東京生物多様性センター事務所
〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-23-8-306

詳しくは URL <http://tokyobio.jp>

TEL/FAX 042-400-5680

プロジェクトメンバー

代表 高田馨里（大妻女子大学比較文化学部）

講師 渡辺仁（NPO 法人東京生物多様性センター）

教員 細谷夏美（大妻女子大学社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻）

赤松美和子（大妻女子大学比較文化学部）

石川照子（大妻女子大学比較文化学部）

武田千夏（大妻女子大学比較文化学部）

原 研二（大妻女子大学比較文化学部）

学生 中島 渚（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

江下裕子（大妻女子大学家政学部食物学科）前期プロジェクト

佐々木美緒（大妻女子大学短期大学部・家政科）前期プロジェクト

原 稚葉（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

樋口琴乃（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

三堀鈴音（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

平間彩音（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

大林千恵（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

木村麻衣子（大妻女子大学家政学部・児童学科）前期プロジェクト

本田日和（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

山田里沙（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

櫻井美咲（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

宮本彩加（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

熱田三奈（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

佐藤亜美（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

谷口実優（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

名川果歩（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト

程原光蘭（大妻女子大学比較文化学部・比較文化学科）後期プロジェクト



ノスリとカラス（千鳥ヶ淵緑道上空：渡辺仁先生撮影）

平成 31 年度（令和元年度）千代田学活動成果報告書

「千代田区バードサンクチュアリ化プロジェクト—エナガの遊ぶ千代田区へ」

〔発行〕大妻女子大学比較文化学部 高田 馨 里

〒102-8357 東京都千代田区三番町 12

〔発行日〕2020 年 3 月（改訂版）

*無断での転載はお断りします。